

# 令和2年度大学院地球社会統合科学府

## 修士課程（冬季）入学試験

### 入学試験問題

#### 自然人類学

##### 注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 指定の解答用紙を用いること。
3. 試験開始後、全ての解答用紙に受験番号等を明記すること。
4. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
5. 問題冊子は持ち帰ってよい。

1. 以下の用語のうち5つを選び、それぞれ5行以内で解説しなさい。

(各20点。計100点)

ゲノム 齶歯 エナメル質減形成 安定同位体 エピジェネティックス  
歯石 レチウス線条 Sr同位体分析 井上直彦 金関丈夫

2. 以下の質問のうち、2問を選んで解説しなさい。(各50点。計100点)

- 1) 縄文時代から弥生時代への移行に関する議論について、生物考古学の(生物文化的な)視点から詳述しなさい。
- 2) 先史時代の人類の口腔内環境の復元から何を学ぶことができるか、出現および時代変化に作用した環境要因(自然環境、社会・文化環境)を考慮に入れ解説しなさい。
- 3) 自然選択、遺伝的浮動、遺伝子流動、選択圧の緩和がヒトの遺伝的多様性を創出してきた証拠について、どのようなものがあるか例を挙げて説明しなさい。
- 4) 人類の祖先(化石も含む)あるいは現世人類の性差について解説しなさい。性差といっても多くの側面があるので、一つの側面に絞っても構わない。